

大切な人を失った子どもたち

～これからのグリーフケア～

東日本大震災や自死、離婚、虐待など、さまざまな理由で大切な人やものを失った子どもたち。

こうした子どもたちが悲しみや苦しみを整理し、自分らしく歩むためには子どもに寄り添った支援が必要です。

この講演会では、震災直後から被災地をたびたび訪れるなど、日本でのグリーフサポートにも取り組む米国のシンシア・ホワイトさんや作家の落合恵子さんなどを講師に、さまざまな立場で子どもを支援する人たちと一緒に、深い悲しみを抱える子どもに、私たち大人がどのように向き合うのかを考えます。

とき 2013年 6月30日(日)午前10時～午後4時

ところ 浜離宮朝日ホール
(東京都中央区築地5-3-2)

講師 シンシア・ホワイトさん
(米国キッズハートツウハワイディレクター)

落合恵子さん
(作家、こどもの本の専門店クレヨンハウス主宰)

西田正弘さん
(子どもグリーフサポートステーション代表)

小嶋リベカさん
(だいじな人を亡くした子どもの集まりファシリテーター)

定員 400人

参加費 1,000円

● **主催** 子どもグリーフサポートステーション
朝日新聞厚生文化事業団



作家の
落合恵子さんの
講演もあります

Program プログラム

10:00 ~ 11:45

昼食休憩

講演

「大切な人を失った子どもを支えるということ」

▶ シンシア・ホワイトさん

12:45 ~ 13:45

講演

「悲しみに向き合う」

▶ 落合恵子さん

13:45 ~ 14:30

実践報告

「グリーフケアのいま」

▶ 西田正弘さん、小嶋リベカさん

休憩

14:45 ~ 16:00

トーク
セッション

「これからの日本のグリーフケア」

▶ シンシア・ホワイトさん・落合恵子さん、進行=西田正弘さん

Profile プロフィール

シンシア・

ホワイトさん

キッズハートツーハワイ
ディレクター

子どものグリーフサポートで伝統と実績のあるダギーセンター(米国オレゴン州)のトレーニング・ディレクターを7年間務めるなど30年以上に渡り死別・喪失体験やトラウマ体験をした子どものケアに取り組む。日本の子どもたちのグリーフ・サポートについての実践、研究も行っている。

★キッズハートツーハワイ

死別や離婚、虐待などで親や身近な人を喪失した子どもへのグリーフ・サポートを行うハワイ州ホノルル市を拠点とするNPO。実施する支援者養成プログラムには、米国以外からも参加者が集う。

落合恵子さん

作家、こどもの本の専門店クレヨンハウス主宰

「書く」だけでなく「行動する」作家。明治大学文学部英米文学科卒業後、文化放送に入社。アナウンサーを経て作家活動に入る。子ども、女性、家族、介護、環境などの問題を、困難な立場に置かれる少数の人たちに寄り添った視点で描きつづけている。こどもの本の専門店クレヨンハウス、女性の本の専門店ミズ・クレヨンハウスなどを主宰。

西田正弘さん

子どもグリーフサポート
ステーション代表

元あしなが育英会レインボーハウステーフディレクター。子どもグリーフサポートステーションを仙台に開設し、2012年11月から被災した子どものケアに取り組んでいる。「東日本大震災中央子ども支援センター」の外部アドバイザーでもある。

小嶋リベカさん

だいじな人を亡くした子どもの集まりファシリテーター

プレイセラピスト。ダギーセンターで研修と臨床を経験。その後、日本にて喪失を体験した子どもと家族のための集いを実施。現在、国立がん研究センター中央病院緩和医療科に勤務。また、日本ルーテル神学校が主催するだいじな人を亡くした子どもの集まりでファシリテーターを務めている。

お申し込み方法

参加希望のすべての方の

①お名前(ふりがな)②郵便番号・ご住所③TEL・FAX④ご職業と「東京会場参加希望」と明記の上、EメールかFAX、はがきのいずれかでお申し込みください。

ホームページからも申し込みめます。

- ・ 参加券を送付しますので、当日ご持参ください。
- ・ 同様の講演会を6/29に大阪市でも行います。お申し込みの際は、参加希望会場を必ずご記入ください。

お申し込み・お問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団

「子どもグリーフ講演会」係

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

TEL:03-5540-7446 FAX:03-5565-1643

Email: childreng@asahi-welfare.or.jp

